



## 独自の学習法と指導力

「中国語を学ぶ日本でかるの発音」と、東にTERAKOYA本部を置く、デジタルバンクジャパン(略称)。日本人は発音から入るより、得意な漢字の読み・書きを指導力が人気。東京に本社、豊川市

同社の事業者向け中國語研修サービス「二ハオABC」で、ゼロからはじめる中国語(1日コース120分、4日コース90分×4)

「多くの日本のビジネスマンと出会い、いふ言葉も含め、知ることが日本人が何に困っているのか、中国語の一ことを、日本の企業、

その後、アパレルメーカーのECマーケティング責任者を経て、不動産管理会社で中国本土・香港向け新規貿易事業、中国人向け対日不動産投資情報部門などを経験後、DBJへ。

世界経済を取り込むと、日本の大企業だけでなく中小企業も取引の開始・拡大を図り、赴任・出張も増えている。

「つまり『中国に出張』と言わても不安にならない。これまで知つておけば安心の『これだけ講座』だから」と、日本人が

日本のビジネスマンとの出会い財産

## 中国出張の強い味方

2006年に来日後、アパレルメーカーのECマーケティング責任者を経て、不動産管理会社で中国本土・香港向け新規貿易事業、中国人向け対日不動産投資情報部門などを経験後、DBJへ。

DBJの中国ビジネス支援(言語研修、翻訳、現地視察)サービスの問い合わせは、豊川市末広通2の61、TEL 0533・84・63333、FAX 0533・83・5208-31)。

ゼロからの学習入門でも経験を生かす。「お水」と注文した湯。正解は「ミネラルウォーター」。ビルを注文する時は「冷たいビル」と言うことと、同国の常識。習慣も教えてくれる。(杉浦文夫)



中国語講師

王琳娜さん  
おうりんないなさん



△はじめでの中出張、「これだけ講座(4日「ース90分×4」)はじめ、初級~上級コースなどの講師を務める。そこで使う同社独自の学習法のテキストの編集も担当した。

中国・青島出身。青島入学後、青島市对外貿易経済合作局でAPEC中小企業技術交流及び日本企業の説教を担当。

マンシーマン指導も行う王さん。(写真の生徒は吉田産業代表取締役・箕浦喜一郎さん)